

# 血液・腫瘍内科

## 1. 概要

2018年度は5人のスタッフにて、1日平均約70人の外来と、同様に約45人の入院患者に対する診療を行った。入院患者数はあまり変化がないが、外来患者数は次第に増加している。

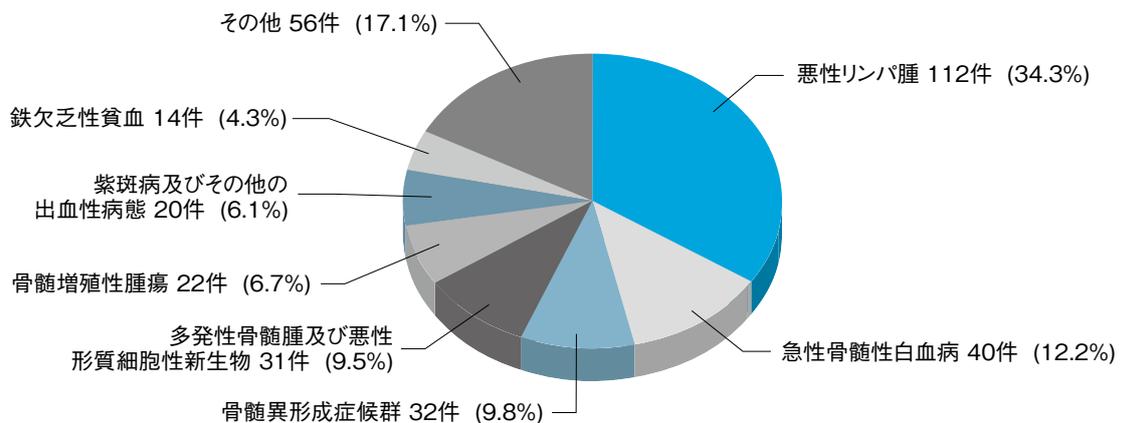
本年度も東三河全域や静岡県西部などから、多くの患者が来院した。疾患のほとんどは血液悪性腫瘍であるが、化学療法で治癒や深い奏功を目指せる疾患も多く、若年者のみならず高齢者においても積極的に化学療法を行っている。また、自己および同種造血幹細胞移植においても、しっかり適応を判断したうえ、該当する症例においては積極的に行っている。造血幹細胞移植や高齢者の化学療法などにおいては、治療の合併症が比較的起きやすいが、他領域専門職種とのチーム医療を積極的に行うことで、生活の質を下げずに速やかに外来治療に移行できるよう、本年度も取り組んだ。また、血液良性疾患、凝固疾患なども含め、あらゆる血液疾患に対応できるよう、体制を整えている。

(第一部長 杉浦 勇)

(文責 第二部長 倉橋 信悟)

## 2. 新規登録疾患

総数：327件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	43	C833
	ろ胞性リンパ腫グレードⅡ	13	C821
急性骨髄性白血病	急性骨髄性白血病	40	C920
	慢性骨髄性白血病	13	C921
骨髄異形成症候群	骨髄異形成症候群, 詳細不明	26	D469
多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	多発性骨髄腫	19	C900
	単クローン性異常免疫グロブリン血症	11	D472
骨髄増殖性腫瘍	真正赤血球増加症	12	D45
	本態性(出血性)血小板血症	10	D473
骨髄増殖性腫瘍	特発性血小板減少性紫斑病	20	D693
鉄欠乏性貧血	鉄欠乏性貧血, 詳細不明	14	D509

### 3. 活動報告

#### (1) 患者状況

年間外来患者数	17,627人	年間外来新患者数	518人
年間入院患者数	15,255人	年間入院新患者数	723人

## 学会発表（医局）

### <血液・腫瘍内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	HLA半合致移植後の生着遅延中に水頭症を発症し剖検でサイトメガロウイルス髄膜炎が判明した1例	筆頭演者	梅村 晃史	第40回日本造血細胞移植学会総会	札幌市	2018/2/2	
2	新規薬剤併用療法が奏効したIgD型多発性骨髄腫の1例	筆頭演者	鈴木祐太郎	第234回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	R
3	脾破裂で発症し早期に治療抵抗性を示した多発性骨髄腫の1例	筆頭演者	長井 尚哉	第236回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/9/30	R
4	Optimizing autologous stem cell mobilization using plerixafor with minimum administration period	筆頭演者	Naoto Imoto	第80回日本血液学会学術集会	大阪市	2018/10/12	
5	Can bosutinib overcome intolerance and resistance to preceding TKIs in patients with CML-CP?	筆頭演者	Daisuke Koyama	第80回日本血液学会学術集会	大阪市	2018/10/12	
6	Retrospective analysis of essential thrombocythemia in a single institute	筆頭演者	Rie Ito	第80回日本血液学会学術集会	大阪市	2018/10/14	

## 研究会発表（医局）

### <血液・腫瘍内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	二次性形質細胞性白血病に進展した多発性骨髄腫に対してDaratumumabを投与した1例	筆頭演者	小山 大輔	Meet the Expert in Kobe ~Dr.Mateosをお招きして~	神戸市	2018/1/28	
2	二次性形質細胞性白血病に進展した多発性骨髄腫に対してDaratumumabを投与した1例	筆頭演者	小山 大輔	第37回三河血液疾患診療ネットワーク	安城市	2018/2/16	
3	多発性骨髄腫に対する抗CD38交代療法	筆頭演者	梅村 晃史	第20回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2018/3/3	
4	IgD型多発性骨髄腫に対するダラツムマブの使用経験	筆頭演者	伊藤 理恵	第20回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2018/3/3	S
5	妊娠経過中に発症した古典的ホジキンリンパ腫に対する治療経験	筆頭演者	倉橋 信悟	三河Lymphoma seminar	名古屋市	2018/3/6	
6	当院における本態性血小板血症66例の検討	筆頭演者	伊藤 理恵	Novartis Hematology Forum in 三河	名古屋市	2018/4/13	S
7	多発性骨髄腫治療における抗体療法の位置づけ	筆頭演者	井本 直人	第3回Tokai Hematological malignancy Club	名古屋市	2018/5/18	
8	他のTKIに不耐容あるいは抵抗性のCML-CPIに対するボスチニブ療法	筆頭演者	小山 大輔	Pfizer Leukemia Symposium in Aichi	名古屋市	2018/6/29	
9	高齢者におけるVRD寛解導入療法	筆頭演者	倉橋 信悟	三河骨髄腫セミナー	名古屋市	2018/9/28	
10	FIP1L1-PDGFR融合遺伝子を認めたT細胞性リンパ芽球性リンパ腫の1例	筆頭演者	伊藤 理恵	第38回三河血液疾患診療ネットワーク	安城市	2018/11/2	S

## 座長・司会（医局）

### <血液・腫瘍内科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	移植成績②	倉橋 信悟	第40回日本造血細胞移植学会	札幌市	2018/2/3	
2	座長	多発性骨髄腫の治療戦略2018 -New drug brings present and future of paradigm shift-	杉浦 勇	三河 骨髄腫講演会	豊橋市	2018/2/9	
3	司会	一般講演	杉浦 勇	第37回三河血液疾患診療ネットワーク	安城市	2018/2/16	
4	座長	MPN診断と治療の最適化	杉浦 勇	Novartis Hematology Forum in 三河	名古屋市	2018/4/13	
5	司会	Treatment strategy for RRMM in the near future	杉浦 勇	第21回東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2018/5/14	
6	座長	次世代シークエンサーを用いたBCR-ABL変異解析	杉浦 勇	血液疾患Update in 名古屋2018	名古屋市	2018/5/17	
7	座長	多発性骨髄腫治療における抗体療法の位置づけ	倉橋 信悟	第3回Tokai Hematological malignancy Club	名古屋市	2018/5/18	
8	座長	Management of Multiple Myeloma: The Changing Paradigm	杉浦 勇	東海骨髄腫フォーラム	名古屋市	2018/7/12	
9	座長	フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対する第三世代TKI治療	杉浦 勇	第80回日本血液学会学術集会 コーポレートMセミナー	大阪市	2018/10/13	
10	Opening remarks	Opening remarks	杉浦 勇	血液疾患Update in 名古屋	名古屋市	2018/10/19	
11	司会	Patient-centered practice in elderly myeloma patients: an overview and consensus from the European Myeloma Network (EMN) / How I treat the young patient with multiple myeloma	杉浦 勇	第25回Nagoya Myeloma Working Group	名古屋市	2018/10/31	
12	座長	MPN診断のポイントについて	杉浦 勇	MPN Clinical Seminar in 豊橋	豊橋市	2018/11/9	
13	座長	MPN外来を通じてわかった治療戦略	倉橋 信悟	MPN Clinical Seminar in 豊橋	豊橋市	2018/11/9	

## 講演（医局）

<血液・腫瘍内科>

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	Ph+ALLの治療戦略	杉浦 勇	Hematology Seminar in Akita	秋田市	2018/1/19	
2	Ph+ALLの今後の治療戦略	杉浦 勇	Ph+ALL Conference	横浜市	2018/11/14	

## 論文・著書（医局）

### <血液・腫瘍内科>

No.	題名	区分	氏名	著書名	演者区分
1	High-dose methotrexate therapy significantly improved survival of adult acute lymphoblastic leukemia: a phase III study by JALSG.	共同著者	Isamu Sugiura	Leukemia. 2018;32:626-632.	
2	Plerixafor for mobilization and collection of haematopoietic stem cells for autologous transplantation in Japanese patients with non-Hodgkin lymphoma: a randomized phase 2 study.	共同著者	Isamu Sugiura	Int. J. Hematol.. 2018;108:524-534.	
3	Final analysis of the JALSG Ph+ALL202 study: tyrosine kinase inhibitor-combined chemotherapy for Ph+ALL.	共同著者	Isamu Sugiura	Ann. Hematol.. 2018;97: 1535-1545.	
4	Outcomes of strategic alternative donor selection or suspending donor search based on Japan Marrow Donor Program coordination status.	共同著者	Singo Kurahashi	Int. J. Hematol.. 2018;107:551-558.	
5	Efficacy and Long-Term Outcomes of Autologous Stem Cell Transplantation in POEMS Syndrome: A Nationwide Survey in Japan.	共同著者	Singo Kurahashi	Biol Blood Marrow Transplant. 2018;24: 1180-1186.	
6	Iodine staining and p16 immunohistochemistry as a novel screening for secondary esophageal neoplasm after hematopoietic stem cell transplantation.	共同著者	Daisuke Koyama	Bone Marrow Transplant. 2018; 53: 1359-1363.	